

【論 説】

創造都市ネットワークの展開とその可能性

佐々木 雅幸
竹谷 多賀子

はじめに

2017年6月29日から7月2日にかけて、ユネスコ創造都市ネットワーク UNESCO Creative Cities Network (UCCN) の2017年年次総会が、パリ近郊のアンギャン・レバン市において開催され、加盟する54か国116都市のうち、約100都市、300人を超える代表とユネスコ担当者が集まって、UCCNの到達点と今後の発展方向、各創造都市に関する評価とベストプラクティスの紹介、並びに国際連合 United Nations (UN) が2015年に決定した、2030に向けた持続的発展目標 Sustainable Development Goals (SDGs) に創造都市がどのように貢献できるのかが話し合われた。

本稿はこの会議及び、過去の年次総会での議論を踏まえて、UCCNのグローバル展開とその可能性を論じるとともに、リージョナルにもナショナルにも展開しつつある創造都市ネットワークの動向と相互の関連性についても検討を加えるものである。

1 創造都市と創造経済の時代

今まさに、「創造都市と創造経済の時代」が到来したと言っても過言ではないだろう。

前世紀末より、金融・経済を中心として急速に進んだ新自由主義的グロー

バリゼーションは、世界をマネーゲームに没頭させ、グローバルな都市間競争を巻き起こし、弱肉強食の生存競争の中で社会的並びに地域的格差の拡大をもたらしてきた。ピケティ T. Piketty 教授の著書 *Capital in the Twenty-First Century* が実証的に明らかにしているようにグローバルな格差の拡大が深刻な社会問題となり、世界的な金融不安の大波とナショナリズムの台頭が世界システムの脆弱性を高めることによって、人々に反省の機会を与え、市場原理主義との決別と「金融を中心としたグローバリゼーション」からの離脱の必要性を人々に認識させ始めたように思われる。しかしながらその一方、反グローバリズムの潮流は、英国の EU 離脱の選択、米国トランプ政権のアメリカファーストへの政策転換など、排外主義を伴う右翼的潮流とも重なり合っており急速に強まっている。

こうした中で、グローバル社会は既存の社会経済システムからの転換を迫られ、都市論においても、21世紀初頭に登場したグローバル都市、創造都市、そしてサステイナブル都市などの検討が焦眉の課題になってきた。

振り返ってみると、前世紀末から21世紀初頭にかけて、都市論において最初に注目された「グローバル都市」は、サッセン S. Sassen の著書にみるように、金融経済の頂点に位置して、世界中から富や創造の人材を集め、21世紀の都市文明をリードするものと期待され、多くの都市がグローバル金融都市を目標にした競争に巻き込まれた (Sassen, 2001; 2010)。

しかしながら、金融部門と高度専門サービス業 professional services を成長エンジンとするグローバル都市ニューヨークは、2001年に9・11事件の標的となり、2008年の9・15リーマンショックを引き金とする大恐慌の暴風に翻弄され、その持続可能性に大きな疑問符が付けられることになった。

すなわち、2001年9月11日に、「グローバル都市」ニューヨークは、マンハッタンに聳えるワールドトレードセンターのツインタワーへの2機のジェット旅客機の突入によって、2,672人の命と総額1,000億ドルの資産が一瞬にして失われ、この惨劇以降、ニューヨーク型の「グローバル都市神話」

が崩れ始めた。さらに、2008年9月15日に惹起した証券会社リーマンブラザーズの破産が引き金になりウォールストリートから始まった世界金融危機は、世界経済全体を現在に至るまで不安定な状態に陥れ、「市場原理主義的なグローバリゼーション」に対する反省の契機を生み出した。

一方、これに替わって「調和のとれた多様性を認め合うグローバリゼーション」への模索がはじまり、世界の各都市が芸術文化の創造性を高めることで、市民の活力を引き出し、都市経済の再生を多様に競いあう「創造都市の時代」が幕を開けた。この流れは、友人であるランドリー C. Landry の *The Creative City* (2000年) とフロリダ R. Florida の *The Rise of the Creative Class* (2002年) の影響もあり、2000年以降に強まるが、ユネスコが創造都市ネットワークを提唱した2004年には集中的に顕在化したといえる。

中でも印象深いのは、バルセロナで開催された世界文化フォーラム Universal Forum of Cultures 2004 であった。これは、グローバル化する社会の中で高まる国際的テロや各種の衝突を回避すべく、芸術文化の果たす役割を多方面から語り合おうという趣旨のもとで、バルセロナが世界に呼びかけ、2004年5月から9月下旬まで141日間にわたって展開された、芸術文化を中心にした世界的イベントであった。その内容は芸術・人権・発展・環境・ガバナンスなどの多様なテーマに跨る国際的な対話とアーツイベントとを組み合わせ合わせた画期的なものであり、国家的威信をかけて産業や科学技術の成果を競いあう万国博覧会が20世紀的な国際イベントであったとするならば、まさに「21世紀を象徴する文化博覧会」とでもいうべきものであり、以後3年ごとにメキシコシティなど主にラテン系の都市で継続的に開催されている。

このフォーラム期間中の8月下旬に行われた「文化権と人間発達 cultural rights and human development」を主題とするシンポジウムは特に注目される。これは、バルセロナに拠点をおく芸術NPOであるインテルアーツ財団 Ineterarts Foundation が、ユネスコの協力を得て企画したものであり、「人間発達」という概念を「文化権」とのかかわりで正面から論じようという意欲

的な企画であった。

このベースには、ノーベル賞受賞者でインド生まれの経済学者であるアムルティア・セン A. Sen の提唱する「ケイパビリティ capability」という概念がある。つまり、今後の富や貧困の指標は、従来のように1人あたりGDPの大きさを測るのではなく、それぞれの国や地域の人々がどれだけ多くの「選択肢」をもっているか、人生のさまざまな局面において「意義ある選択」が可能な社会となっているかというレベルで見えていくべきだというものであり、一人ひとりにとってのケイパビリティ、つまり発達可能性や潜在能力などに多様な選択肢の拓かれている社会ほど豊かであるという考え方である。それは当然、女性の社会参加やマイノリティの発言権などさまざまな権利と結びつくが、そのような人間の基本的権利すなわち人権を発達可能性の視点から捉えたとき、そのベースには、豊かな文化を創造し、享受する権利つまり「文化権」が重要であるという認識がある。

さらに、セン教授は、文化は人々や地域のアイデンティティを強固なものとするが、これをアプリアリに肯定することはできず、アイデンティティが相対立する場合に互いの異なるアイデンティティを認め合う、マルチプル・アイデンティティの立場に立たねばならないと述べている (Sen, 2006)。

21世紀初頭の社会は、グローバリゼーションが金融・経済にとどまらず文化の分野においても急速に進行し、新自由主義的グローバリゼーションが富と貧困への両極分解を世界的に押し広げ、地球環境の悪化をもたらす一方で、文化の中で大きな要素となる宗教と言語にも大きな影響を与え、宗教的価値観の対立や文明の衝突を激化させてきた。この結果、とくに途上国で砂漠化や農地の減少とともに少数民族の言語の消滅が顕著であり、ユネスコ等はこれに大きな警鐘を鳴らして、「生物的多様性」に対比して「文化的多様性」の概念を提唱してきた。すなわち、金融・経済のグローバリゼーションの影響下で引き起こされる「文化帝国主義」の如き現象によって、一方的に少数の人々の「文化権」が損なわれることが無いように、文化的弱者を包摂する立場から

「文化的多様性」を重視すべきだという考え方である。

「文化的多様性を重視した、より調和の取れたグローバリゼーション」への方向性を探るための創造的な対話の機会を提供したことが世界文化フォーラムの意義であり、まさに「文化と対話」を重視した創造都市の世界的リーダーとしてのバルセロナの真骨頂を示すイベントとすることができ、世界経済フォーラムのダボス会議、ラテン世界中心の世界社会フォーラムと並んで、21世紀を特徴づけるグローバルイベントとなりつつある。

会議を提唱し、主催したバルセロナは、すでに1992年に開催したオリンピックでは、その憲章に立ち戻ってスポーツと文化と教育を融合する文化オリンピックアードを成功させており、こうした考え方は2012年のロンドンオリンピックにおいても引き継がれて、イギリス全土で4年間にわたって約18万件のアートプロジェクトを成功させている。

オリンピックがスポーツ分野のみならず、芸術文化と結びついた世界的イベントとなってきたことも、創造経済時代の都市のあり方を象徴的に示すものでもあった。ロンドンは2000年以降、創造産業の振興により新企業と雇用を生み出す、クリエイティブロンドン政策を推進して、金融部門の不振を創造産業によってカバーしてきたのである。

このようにグローバル金融都市に代わって21世紀都市の中心に躍り出た創造都市は、製造業をベースにしたフォーディスト都市 *fordist city* の衰退を時代的背景として、知識情報経済をベースとして発展した創造経済時代にふさわしい都市であるといえよう。

「20世紀の工業経済から21世紀型の創造経済への移行」については、第1表のようにまとめることができる。

すなわち、生産・消費・流通の各システムが大規模集中型から分散的ネットワーク型に転換し、市場に個性的文化的消費を担う「文化創造型生活者」が多数登場してくると、都市の競争要因も資本・土地・エネルギーから、知識と文化、すなわち、創造的人材に変わり、その結果、都市の形も「産業都

第 1 表 工業経済から創造経済への移行

	20 世紀の工業経済	21 世紀の創造経済
生産システム	大規模生産 トップダウン	フレキシブル生産 ボトムアップ
消費システム	非個性的大量消費	個性的文化的消費
流通システム メディア	大量流通 マスメディア	ネットワーク ソーシャルメディア
経済の優位性	資本・土地・エネルギー	クリエイティブ人材 知識・知恵・文化
都市の形	産業都市	創造都市

市から創造都市 (creative city)」に転換するのである。

したがって、創造都市論が時代の注目を集める理由は、単に衰退都市の再生やまちづくりの方法論として期待されているからではなく、「世界的な創造経済の到来」を背景として、直面している世界的不況からの脱出方策のモデルの 1 つとしても期待されるからである。20 世紀のアメリカ社会をリードしたフォーディズム都市の代表であるデトロイトが、破産後に政策転換してユネスコ創造都市に加盟してデザイン都市を目指しているのは、時宜を得たものといえよう。

このように、創造都市は、あたらしい創造経済への時代の転換の中で、「文化と創造性による都市再生」の成功事例に基づいて概念化されてきたものであり、創造産業、そして創造階級など関連領域への広がり多様性を伴って、全世界に瞬く間に流行することになり、とりわけ、「創造階級 creative class」を誘致する都市間競争に拍車をかけることになったのも事実である。

しかしながら、創造階級を誘致すれば自動的に創造都市になるわけではなく、創造都市の経済的エンジンとなる創造産業の発展のためには、都市の文化資本や文化資源の固有価値 intrinsic value を活かすことが不可欠であり、クリエイターやアーティストの創造性や自発性に基づくネットワークやクリエイティブクラスターの形成がなければ、都市経済の持続的な発展は望めない。

また、創造階級の誘致にのみ都市政策の関心が向けられることになれば、社会的緊張を高めることにもなるであろう。

そもそも「創造都市」という新しい都市概念はEUが推進してきた「欧州文化首都 European Capital of Culture」の経験から生まれた、文化と創造性を新産業や雇用の創出に役立て、ホームレスや環境問題の解決に生かし、都市を経済的のみならず、社会的、文化的にも再生させる試みであった。

長引く世界不況が引き起こす生活困難の状況下で、障害者や老人、ホームレスピープルを社会的に排除するのではなく、知識情報社会において発生する格差の克服や急速なグローバル化が引き起こす難民問題の解決など「社会的包摂」という課題の創造的解決が創造都市に対して提起されている。

2 ユネスコ創造都市ネットワークの形成と特徴

既にみたように21世紀初頭には「グローバル都市から創造都市へ」へのパラダイム転換が確実のものとなり、2004年には「創造都市ネットワークの構想」が、「文化的多様性」の保持を強調する観点からユネスコによって提唱された。

ユネスコが「都市」に注目する理由としては、以下の3点が挙げられる。

第1に、都市には創造産業を担う文化的活動が集積されており、創造的活動、製品等の製作、供給という一連の行動が都市の中で起こること、

第2に、都市は空間や場所を提供することで、創造活動を行う人同士を結びつける潜在的な可能性を持っており、また、都市同士が結びつくことにより、より世界的な規模での都市の連携の可能性がうまれること、

第3に、都市は国民国家に比べて、その内部の文化産業に影響を与えるには程よく小規模であり、また、国際的市場の流通の窓口になるには十分な大きさの規模を持つこと。

実際に、ユネスコ創造都市ネットワークが提唱された以降に、「都市間競争から都市ネットワークへ」の新たな展開が様々なレベルにおいてみられるよ

うになった。

すでに、ユネスコは、20 世紀末から急速化する市場原理主義的なグローバルイゼーションにより、途上国の文化財や言語が消失して文化権や人間発達を阻害し、文化的多様性が損なわれ、文化的画一化が進むことに警鐘を鳴らしてきたが、世界遺産や無形文化遺産などの指定を通じて文化財＝文化資本の保存を呼びかけるとともに、2001 年には「文化的多様性に関する世界宣言」を採択した。

この背景には、新自由主義の影響の強い世界貿易機構 WTO 体制のもとで自動車やハイテク家電など工業製品のみならず、映画やテレビ番組、雑誌までが貿易自由化の対象となれば、ハリウッドの映画産業など経済的に影響力の強い巨大文化産業が市場を席卷し、シネマ発祥の地であるフランスやイタリアであっても映画産業が壊滅的な被害を受けて、文化的多様性を損なってしまうという欧州各国の強い危機感があったのである。

さらに、2005 年には「文化的表現の多様性の保護および促進に関する条約」が採択され、締約国（並びに EU など地域統合機関）には文化的活動や財・サービスの創造、生産、普及、配布、享受に関して公的な規制や資金援助を含む適切な措置を取ることを認め、公共放送を含めメディアの多様性強化のための措置をも認めている。2006 年にはこのユネスコ条約を EU が批准し、中国やインドなど多様な少数民族を抱える国々にも受け入れられており、新自由主義的で無秩序なグローバル化による文化の画一化傾向に対して、文化的多様性を認め合う節度あるグローバルイゼーションに向けて一定の影響力を持つことが期待される（安江、2008）。

こうした一連の流れの中で、ユネスコ文化局は 2004 年に文化産業の創造的社会経済的潜在力を解放し、文化的多様性を実現する目的で創造都市のグローバルアライアンスを構築すること呼びかけた。

具体的にユネスコの創造都市ネットワークへの加入手続きは、文学、音楽、デザイン、メディアアート、映画、食文化にクラフト & フォークアートを加

えて、7つの創造的文化産業群の中から、1分野を選択して、パリのユネスコ文化局に申請して審査を受けることになる。ユネスコの呼びかけに応じて2015年12月までに認定を受けた都市は第1図および第2-1表、第2-2表、第2-3表に示すように54か国116都市にのぼり、分野別には、映画がブラッドフォード（イギリス）など8都市、音楽がボローニャ（イタリア）など19都市、クラフト&フォークアートがサンタフェ（アメリカ）など20都市、食文化がボパヤン（コロンビア）など18都市、デザインがモントリオール（カナダ）など22都市、文学がエディンバラ（英国）など20都市、メディアアートがリヨン（フランス）など9都市となっており、映画とメディアアートを除き、1分野に20都市前後が認定されている。

国別にみると、創造都市政策の採用が最初に本格化したイギリスと国策として推進する中国が8都市で最も多く、次いで日本が7都市、スペイン、アメリカ、韓国が6都市、イタリア、ブラジルが5都市、ドイツが4都市、フランス、オーストラリア、メキシコが3都市の順となっている。

地理的に見渡すと第1図で見たように、西ヨーロッパが最も多く、次いで、中国、日本、韓国の東アジアが2番目に位置し、北アメリカがそれに続き、南アメリカやアフリカはまだ展開途上であることが分かる。これは、既存産業が衰退し、文化による都市再生の経験が広がりを見せている西ヨーロッパと北アメリカ、更には創造産業への関心が高い東アジアという地理的な特徴を読み取ることもできるが、全般的には都市における文化政策の成熟度を反映したものということもできる。

日本においては、2008年10月に神戸市と名古屋市がデザイン分野で、金沢市が2009年にクラフト&フォークアート分野で、札幌市が2013年にメディアアーツ分野で、2014年に浜松市が音楽分野、鶴岡市が食文化分野で、さらに2015年には篠山市がクラフト&フォークアート分野で登録され、合計5分野で7都市が認定されている。

ネットワークへ加入した都市は、自らの創造的経済を育成する上で、経験、

UNESCO Creative Cities Network

A Creative City is a city that links its distinctive culture to industry in order to create new value. It is part of the Creative Cities Network sponsored by UNESCO. Kanazawa applied to join the network in October 2008, and in June 2009 became the first city in the world to receive accreditation in the field of crafts.

North America 3 countries 10 cities

Designation	City	Country	Designation	City	Country
2	Santa Fe	U. S. A.	32	Detroit	U. S. A.
2	Montréal	Canada	32	Puebla	Mexico
16	Iowa City	U. S. A.	91	Ensenada	Mexico
40	Paducah	U. S. A.	96	Tucson	U. S. A.
72	San Cristóbal de las Casas	Mexico	96	Austin	U. S. A.



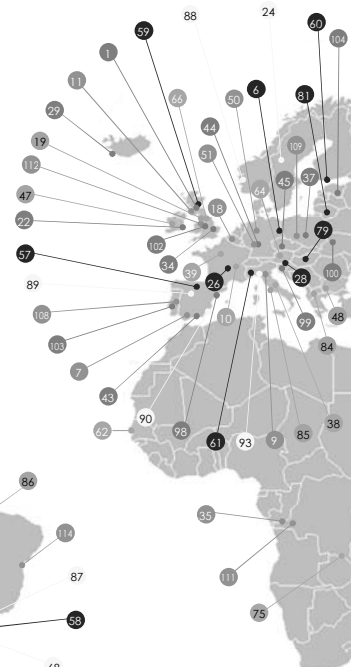
Latin America 8 countries 14 cities

Designation	City	Country
3	Popayán	Colombia
7	Buenos Aires	Argentina
13	Bogota	Colombia
33	Jacmel	Haiti
33	Nassau	Bahamas
33	Curitiba	Brazil
58	Florianópolis	Brazil
68	Durán	Ecuador
72	Santos	Brazil
86	Belém	Brazil
87	Montevideo	Uruguay
91	Kingston	Jamaica
10	Medellin	Colombia
10	Salvador	Brazil

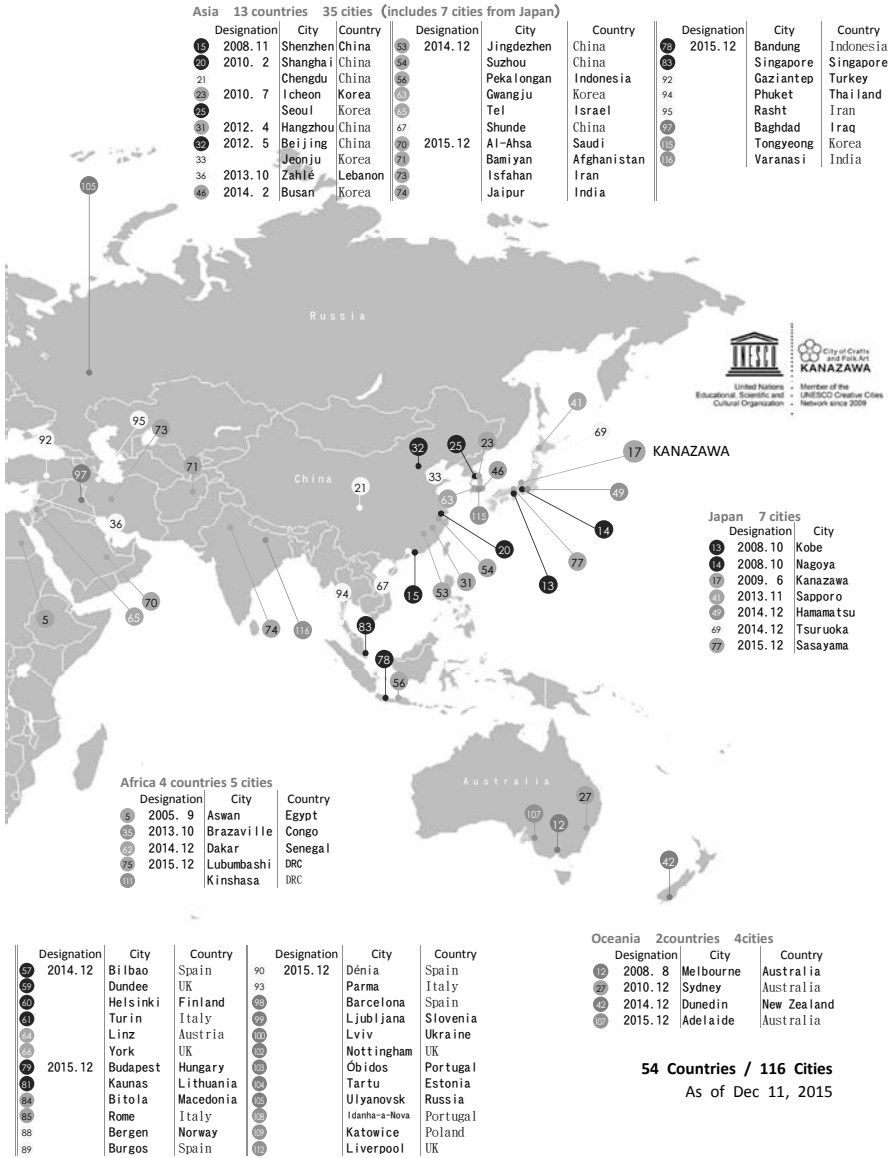
Europe 24 countries 48 cities

Designation	City	Country	Designation	City	Country
1	Edinburgh	UK	22	Reykjavik	Iceland
6	Berlin	Germany	24	Norwich	UK
7	Sevilla	Spain	26	Krakow	Poland
9	Bologna	Italy	34	Fabriano	Italy
10	Lyon	France	37	Enghien-les-Bains	France
11	Glasgow	UK	38	Granada	Spain
18	Ghent	Belgium	39	Heidelberg	Germany
19	Bradford	UK	44	Prague	Czech
22	Dublin	Ireland	45	Galway	Ireland
24	Östersund	Sweden	46	Sofia	Bulgaria
24	Saint-Étienne	France	47	Hanover	Germany
28	Graz	Austria	50	Mannheim	Germany
			51		

- Film
- Crafts & Folk Art
- Design
- Gastronomy
- Music
- Media Arts
- Literature



第 1 図 2015 年 12 月におけるユネスコ創造都市



第2-1表 ユネスコ創造都市ネットワーク登録都市：分野別

2015年12月現在 54か国116都市

No.	分野	Field	登録年月	都市名	City	国名	Country	備考
1	映画	Film	2009/06	ブラッドフォード	Bradford	イギリス	UK	
2	映画	Film	2010/12	シドニー	Sydney	オーストラリア	Australia	
3	映画	Film	2014/12	釜山	Busan	韓国	Korea	
4	映画	Film	2014/12	ゴールウェイ	Galway	アイルランド	Ireland	
5	映画	Film	2014/12	ソフィア	Sofia	ブルガリア	Bulgaria	
6	映画	Film	2015/12	ビトラ	Bitola	マケドニア	Macedonia	
7	映画	Film	2015/12	ローマ	Rome	イタリア	Italy	
8	映画	Film	2015/12	サントス	Santos	ブラジル	Brazil	
9	音楽	Music	2006/03	セビリヤ	Seville	スペイン	Spain	
10	音楽	Music	2006/05	ボローニャ	Bologna	イタリア	Italy	* 2013
11	音楽	Music	2008/08	グラスゴー	Glasgow	イギリス	UK	
12	音楽	Music	2009/06	ゲント	Ghent	ベルギー	Belgium	
13	音楽	Music	2012/03	ボゴタ	Bogotá	コロンビア	Colombia	
14	音楽	Music	2013/10	ブラザビル	Brazzaville	コンゴ共和国	Republic of Congo	
15	音楽	Music	2014/12	浜松	Hamamatsu	日本	Japan	
16	音楽	Music	2014/12	ハノーファー	Hannover	ドイツ	Germany	
17	音楽	Music	2014/12	マンハイム	Mannheim	ドイツ	Germany	
18	音楽	Music	2015/12	アデレード	Adelaide	オーストラリア	Australia	
19	音楽	Music	2015/12	イダーニャ・ア・ノバ	Ídanha-a-Nova	ポルトガル	Portugal	
20	音楽	Music	2015/12	カトビーツェ	Katowice	ポーランド	Poland	
21	音楽	Music	2015/12	キングストン	Kingston	ジャマイカ	Jamaica	
22	音楽	Music	2015/12	キンシャサ	Kinshasa	コンゴ民主共和国	DRC	
23	音楽	Music	2015/12	リバプール	Liverpool	イギリス	UK	
24	音楽	Music	2015/12	メデジン	Medellín	コロンビア	Colombia	
25	音楽	Music	2015/12	サルヴァドル	Salvador	ブラジル	Brazil	
26	音楽	Music	2015/12	統営(トンヨン)	Tongyeong	韓国	Korea	
27	音楽	Music	2015/12	バラナシ	Varanasi	インド	India	
28	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2005/07	サンタフェ	SantaFe	アメリカ	USA	* 2008
29	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2005/09	アスワン	Aswan	エジプト	Egypt	
30	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2009/06	金沢	Kanazawa	日本	Japan	★* 2015
31	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2010/07	利川	Icheon	韓国	Korea	
32	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2012/04	杭州	Hangzhou	中国	China	
33	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2013/10	ファブリアーノ	Fabriano	イタリア	Italy	
34	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2013/11	パデューカ	Paducah	アメリカ	USA	
35	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2014/12	ジャクメル	Jakmèl	ハイチ	Haiti	
36	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2014/12	景德鎮	Jingdezhen	中国	China	
37	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2014/12	蘇州	Suzhou	中国	China	

第2-1 表つづき

38	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2014/12	ナッソー	Nassau	バハマ	Bahamas	
39	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2014/12	ペカロンガン	Pekalongan	インドネシア	Indonesia	
40	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2015/12	アル・アサ	Al-Ahsa	サウジアラビア	Saudi Arabia	
41	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2015/12	バーミヤーン	Bamiyan	アフガニスタン	Afghanistan	
42	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2015/12	ドゥラン	Durán	エクアドル	Ecuador	
43	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2015/12	イスファハーン	Isfahan	イラン	Iran	
44	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2015/12	ジャイプル	Jaipur	インド	India	
45	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2015/12	ルブンバシ	Lubumbashi	コンゴ民主共和国	DRC	
46	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2015/12	サン・クリストバル・デ・ラス・カサス	San Cristóbal de las Casas	メキシコ	Mexico	
47	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	2015/12	篠山	Sasayama	日本	Japan	
48	食文化	Gastronomy	2005/08	ポパヤン	Popayán	コロンビア	Colombia	
49	食文化	Gastronomy	2010/02	成都	Chengdu	中国	China	* 2014
50	食文化	Gastronomy	2010/07	エステルスンド	Östersund	スウェーデン	Sweden	* 2016
51	食文化	Gastronomy	2012/05	全州	Jeonju	韓国	Korea	
52	食文化	Gastronomy	2013/10	ザーレ	Zahlé	レバノン	Lebanon	
53	食文化	Gastronomy	2014/12	順徳	Shunde	中国	China	
54	食文化	Gastronomy	2014/12	フロリアノポリス	Florianópolis	ブラジル	Brazil	
55	食文化	Gastronomy	2014/12	鶴岡	Tsuruoka	日本	Japan	
56	食文化	Gastronomy	2015/12	ベレン	Belém	ブラジル	Brazil	
57	食文化	Gastronomy	2015/12	ベルゲン	Bergen	ノルウェー	Norway	
58	食文化	Gastronomy	2015/12	ブルゴス	Burgos	スペイン	Spain	
59	食文化	Gastronomy	2015/12	デニア	Dénia	スペイン	Spain	
60	食文化	Gastronomy	2015/12	エンセナーダ	Ensenada	メキシコ	Mexico	
61	食文化	Gastronomy	2015/12	ガジアンテプ	Gaziantep	トルコ	Turkey	
62	食文化	Gastronomy	2015/12	パルマ	Parma	イタリア	Italy	
63	食文化	Gastronomy	2015/12	プーケット	Phuket	タイ	Thailand	
64	食文化	Gastronomy	2015/12	ラシュト	Rasht	イラン	Iran	
65	食文化	Gastronomy	2015/12	ツーソン	Tucson	アメリカ	USA	
66	デザイン	Design	2005/08	ブエノスアイレス	BuenosAires	アルゼンチン	Argentina	
67	デザイン	Design	2005/11	ベルリン	Berlin	ドイツ	Germany	
68	デザイン	Design	2006/05	モンリオール	Montréal	カナダ	Canada	* 2012
69	デザイン	Design	2008/10	神戸	Kobe	日本	Japan	
70	デザイン	Design	2008/10	名古屋	Nagoya	日本	Japan	
71	デザイン	Design	2008/11	深圳	Shenzhen	中国	China	* 2010
72	デザイン	Design	2010/02	上海	Shanghai	中国	China	
73	デザイン	Design	2010/07	ソウル	Seoul	韓国	Korea	★ * 2011
74	デザイン	Design	2010/11	サンティエニス	Saint-Étienne	フランス	France	
75	デザイン	Design	2011/03	グラーツ	Graz	オーストリア	Austria	
76	デザイン	Design	2012/05	北京	Beijing	中国	China	★ 2013
77	デザイン	Design	2014/12	ビルバオ	Bilbao	スペイン	Spain	

第2-1表つづき

78	デザイン	Design	2014/12	クリチバ	Curitiba	ブラジル	Brazil	
79	デザイン	Design	2014/12	ダンディー	Dundee	イギリス	UK	
80	デザイン	Design	2014/12	ヘルシンキ	Helsinki	フィンランド	Finland	
81	デザイン	Design	2014/12	トリノ	Torin	イタリア	Italy	
82	デザイン	Design	2015/12	バンドン	Bandung	インドネシア	Indonesia	
83	デザイン	Design	2015/12	ブタペスト	Budapest	ハンガリー	Hungary	
84	デザイン	Design	2015/12	デトロイト	Detroit	アメリカ	USA	
85	デザイン	Design	2015/12	カウナス	Kaunas	リトアニア	Lithuania	
86	デザイン	Design	2015/12	プエブラ	Puebla	メキシコ	Mexico	
87	デザイン	Design	2015/12	シンガポール	Singapore	シンガポール	Singapore	
88	文学	Literature	2004/10	エディンバラ	Edinburgh	イギリス	UK	
89	文学	Literature	2008/08	メルボルン	Melbourne	オーストラリア	Australia	
90	文学	Literature	2008/11	アイオワシティ	IowaCity	アメリカ	USA	
91	文学	Literature	2010/07	ダブリン	Dublin	アイルランド	Ireland	
92	文学	Literature	2011/08	レイキャヴィク	Reykjavík	アイスランド	Iceland	
93	文学	Literature	2012/05	ノリッチ	Norwich	イギリス	UK	
94	文学	Literature	2013/10	クラクフ	Kraków	ポーランド	Poland	
95	文学	Literature	2014/12	ダニーデン	Dunedin	ニュージーランド	New Zealand	
96	文学	Literature	2014/12	グラナダ	Granada	スペイン	Spain	
97	文学	Literature	2014/12	ハイデルベルグ	Heidelberg	ドイツ	Germany	
98	文学	Literature	2014/12	プラハ	Prague	チェコ	Czech	
99	文学	Literature	2015/12	バグダッド	Baghdad	イラク	Iraq	
100	文学	Literature	2015/12	バルセロナ	Barcelona	スペイン	Spain	
101	文学	Literature	2015/12	リュブリャナ	Ljubljana	スロベニア	Slovenia	
102	文学	Literature	2015/12	リビウ	Lviv	ウクライナ	Ukraine	
103	文学	Literature	2015/12	モンテビデオ	Montevideo	ウルグアイ	Uruguay	
104	文学	Literature	2015/12	ノッティンガム	Nottingham	イギリス	UK	
105	文学	Literature	2015/12	オビドス	Óbidos	ポルトガル	Portugal	
106	文学	Literature	2015/12	タルトゥ	Tartu	エストニア	Estonia	
107	文学	Literature	2015/12	ウリヤノフスク	Ulyanovsk	ロシア	Russian Federation	
108	メディアアート	Media Arts	2008/06	リヨン	Lyon	フランス	France	* 2009
109	メディアアート	Media Arts	2013/11	アンギャン=レ=バン	Enghien-les-Bains	フランス	France	
110	メディアアート	Media Arts	2013/11	札幌	Sapporo	日本	Japan	
111	メディアアート	Media Arts	2014/12	ダカール	Dakar	セネガル	Senegal	
112	メディアアート	Media Arts	2014/12	光州	Gwangju	韓国	Korea	
113	メディアアート	Media Arts	2014/12	リンツ	Linz	オーストリア	Austria	
114	メディアアート	Media Arts	2014/12	テルアビブ・ヤフォ	TelAviv-Yafo	イスラエル	Israel	
115	メディアアート	Media Arts	2014/12	ヨーク	York	イギリス	UK	
116	メディアアート	Media Arts	2015/12	オースティン	Austin	アメリカ	USA	

(注) *は定例会議の開催年, ★は市長会議の開催年.

第2-2表 ユネスコ創造都市ネットワーク登録都市：国別

2015年12月現在 54か国 116都市

No.	国名	Country	登録年月	都市名	City	分野	Field	備考
1	アフガニスタン	Afghanistan	2015/12	バーミヤーン	Bamiyan	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
2	アルゼンチン	Argentina	2005/08	ブエノスアイレス	BuenosAires	デザイン	Design	
3	オーストラリア	Australia	2008/08	メルボルン	Melbourne	文学	Literature	
4	オーストラリア	Australia	2010/12	シドニー	Sydney	映画	Film	
5	オーストラリア	Australia	2015/12	アデレード	Adelaide	音楽	Music	
6	オーストリア	Austria	2011/03	グラーツ	Graz	デザイン	Design	
7	オーストリア	Austria	2014/12	リンツ	Linz	メディアアート	Media Arts	
8	バハマ	Bahamas	2014/12	ナッソー	Nassau	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
9	ベルギー	Belgium	2009/06	ゲント	Ghent	音楽	Music	
10	ブラジル	Brazil	2014/12	クリチバ	Curitiba	デザイン	Design	
11	ブラジル	Brazil	2014/12	フロリアノポリス	Florianópolis	食文化	Gastronomy	
12	ブラジル	Brazil	2015/12	ベレン	Belém	食文化	Gastronomy	
13	ブラジル	Brazil	2015/12	サルヴァドール	Salvador	音楽	Music	
14	ブラジル	Brazil	2015/12	サントス	Santos	映画	Film	
15	ブルガリア	Bulgaria	2014/12	ソフィア	Sofia	映画	Film	
16	カナダ	Canada	2006/05	モンリオール	Montréal	デザイン	Design	* 2012
17	中国	China	2008/11	深圳	Shenzhen	デザイン	Design	* 2010
18	中国	China	2010/02	上海	Shanghai	デザイン	Design	
19	中国	China	2010/02	成都	Chengdu	食文化	Gastronomy	* 2014
20	中国	China	2012/04	杭州	Hangzhou	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
21	中国	China	2012/05	北京	Beijing	デザイン	Design	★ 2013
22	中国	China	2014/12	景德鎮	Jingdezhen	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
23	中国	China	2014/12	蘇州	Suzhou	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
24	中国	China	2014/12	順徳	Shunde	食文化	Gastronomy	
25	コロンビア	Colombia	2005/08	ポパヤン	Popayán	食文化	Gastronomy	
26	コロンビア	Colombia	2012/03	ボゴタ	Bogotá	音楽	Music	
27	コロンビア	Colombia	2015/12	メデジン	Medellín	音楽	Music	
28	チェコ	Czech	2014/12	プラハ	Prague	文学	Literature	
29	コンゴ民主共和国	DRC	2015/12	キンシャサ	Kinshasa	音楽	Music	
30	コンゴ民主共和国	DRC	2015/12	ルブンバシ	Lubumbashi	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
31	エクアドル	Ecuador	2015/12	ドゥラン	Durán	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
32	エジプト	Egypt	2005/09	アスワン	Aswan	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
33	エストニア	Estonia	2015/12	タルトゥ	Tartu	文学	Literature	
34	フィンランド	Finland	2014/12	ヘルシンキ	Helsinki	デザイン	Design	
35	フランス	France	2008/06	リヨン	Lyon	メディアアート	Media Arts	* 2009
36	フランス	France	2010/11	サンテティエンヌ	Saint-Étienne	デザイン	Design	
37	フランス	France	2013/11	アンギャン=レ=バン	Enghien-les-Bains	メディアアート	Media Arts	* 2017
38	ドイツ	Germany	2005/11	ベルリン	Berlin	デザイン	Design	

第2-2 表つづき

39	ドイツ	Germany	2014/12	ハイデルベルグ	Heidelberg	文学	Literature	
40	ドイツ	Germany	2014/12	ハノーファー	Hannover	音楽	Music	
41	ドイツ	Germany	2014/12	マンハイム	Mannheim	音楽	Music	
42	ハイチ	Haiti	2014/12	ジャクメル	Jakmèl	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
43	ハンガリー	Hungary	2015/12	ブタペスト	Budapest	デザイン	Design	
44	アイスランド	Iceland	2011/08	レイキヤヴィク	Reykjavík	文学	Literature	
45	インド	India	2015/12	ジャイプル	Jaipur	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
46	インド	India	2015/12	バラナシ	Varanasi	音楽	Music	
47	インドネシア	Indonesia	2014/12	プカロンガン	Pekalongan	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
48	インドネシア	Indonesia	2015/12	バンドン	Bandung	デザイン	Design	
49	イラン	Iran	2015/12	イスファハーン	Isfahan	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
50	イラン	Iran	2015/12	ラシュト	Rasht	食文化	Gastronomy	
51	イラク	Iraq	2015/12	バグダッド	Baghdad	文学	Literature	
52	アイルランド	Ireland	2010/07	ダブリン	Dublin	文学	Literature	
53	アイルランド	Ireland	2014/12	ゴールウェイ	Galway	映画	Film	
54	イスラエル	Israel	2014/12	テルアビブ・ヤフア	TelAviv-Yafo	メディアアート	Media Arts	
55	イタリア	Italy	2006/05	ボローニャ	Bologna	音楽	Music	* 2013
56	イタリア	Italy	2013/10	ファブリアーノ	Fabriano	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
57	イタリア	Italy	2014/12	トリノ	Torin	デザイン	Design	
58	イタリア	Italy	2015/12	パルマ	Parma	食文化	Gastronomy	
59	イタリア	Italy	2015/12	ローマ	Rome	映画	Film	
60	ジャマイカ	Jamaica	2015/12	キングストン	Kingston	音楽	Music	
61	日本	Japan	2008/10	神戸	Kobe	デザイン	Design	
62	日本	Japan	2008/10	名古屋	Nagoya	デザイン	Design	
63	日本	Japan	2009/06	金沢	Kanazawa	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	★ * 2015
64	日本	Japan	2013/11	札幌	Sapporo	メディアアート	Media Arts	
65	日本	Japan	2014/12	浜松	Hamamatsu	音楽	Music	
66	日本	Japan	2014/12	鶴岡	Tsuruoka	食文化	Gastronomy	
67	日本	Japan	2015/12	篠山	Sasayama	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
68	韓国	Korea	2010/07	利川	Icheon	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
69	韓国	Korea	2010/07	ソウル	Seoul	デザイン	Design	★ * 2011
70	韓国	Korea	2012/05	全州	Jeonju	食文化	Gastronomy	
71	韓国	Korea	2014/12	釜山	Busan	映画	Film	
72	韓国	Korea	2014/12	光州	Gwangju	メディアアート	Media Arts	
73	韓国	Korea	2015/12	統営 (トンヨン)	Tongyeong	音楽	Music	
74	レバノン	Lebanon	2013/10	ザーレ	Zahlé	食文化	Gastronomy	
75	リトアニア	Lithuania	2015/12	カウナス	Kaunas	デザイン	Design	
76	マケドニア	Macedonia	2015/12	ビトラ	Bitola	映画	Film	
77	メキシコ	Mexico	2015/12	エンセナーダ	Ensenada	食文化	Gastronomy	
78	メキシコ	Mexico	2015/12	プエブラ	Puebla	デザイン	Design	
79	メキシコ	Mexico	2015/12	サン・クリストバル・デ・ラス・カサス	San Cristóbal de lasCasas	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	

第2-2 表つづき

80	ニュージーランド	New Zealand	2014/12	ダニーデン	Dunedin	文学	Literature
81	ノルウェー	Norway	2015/12	ベルゲン	Bergen	食文化	Gastronomy
82	ポーランド	Poland	2013/10	クラクフ	Kraków	文学	Literature
83	ポーランド	Poland	2015/12	カトビーツェ	Katowice	音楽	Music
84	ポルトガル	Portugal	2015/12	イダーニャ・ア・ノバ	Ídanha-a-Nova	音楽	Music
85	ポルトガル	Portugal	2015/12	オビドス	Óbidos	文学	Literature
86	コンゴ共和国	Republic of Congo	2013/10	ブラザビル	Brazzaville	音楽	Music
87	ロシア	Russian Federation	2015/12	ウリヤノフスク	Ulyanovsk	文学	Literature
88	サウジアラビア	Saudi Arabia	2015/12	アル・アサ	Al-Ahsa	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art
89	セネガル	Senegal	2014/12	ダカール	Dakar	メディアアート	Media Arts
90	シンガポール	Singapore	2015/12	シンガポール	Singapore	デザイン	Design
91	スロベニア	Slovenia	2015/12	リュブリャナ	Ljubljana	文学	Literature
92	スペイン	Spain	2006/03	セビリア	Seville	音楽	Music
93	スペイン	Spain	2014/12	グラナダ	Granada	文学	Literature
94	スペイン	Spain	2014/12	ビルバオ	Bilbao	デザイン	Design
95	スペイン	Spain	2015/12	バルセロナ	Barcelona	文学	Literature
96	スペイン	Spain	2015/12	ブルゴス	Burgos	食文化	Gastronomy
97	スペイン	Spain	2015/12	デニア	Dénia	食文化	Gastronomy
98	スウェーデン	Sweden	2010/07	エステルズンド	Östersund	食文化	Gastronomy * 2016
99	タイ	Thailand	2015/12	プーケット	Phuket	食文化	Gastronomy
100	トルコ	Turkey	2015/12	ガジアンテプ	Gaziantep	食文化	Gastronomy
101	イギリス	UK	2004/10	エディンバラ	Edinburgh	文学	Literature
102	イギリス	UK	2008/08	グラスゴー	Glasgow	音楽	Music
103	イギリス	UK	2009/06	ブラッドフォード	Bradford	映画	Film
104	イギリス	UK	2012/05	ノリッチ	Norwich	文学	Literature
105	イギリス	UK	2014/12	ダンディー	Dundee	デザイン	Design
106	イギリス	UK	2014/12	ヨーク	York	メディアアート	Media Arts
107	イギリス	UK	2015/12	リヴァプール	Liverpool	音楽	Music
108	イギリス	UK	2015/12	ノッティンガム	Nottingham	文学	Literature
109	ウクライナ	Ukraine	2015/12	リビウ	Lviv	文学	Literature
110	ウルグアイ	Uruguay	2015/12	モンテビデオ	Montevideo	文学	Literature
111	アメリカ	USA	2005/07	サンタフェ	SantaFe	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art * 2008
112	アメリカ	USA	2008/11	アイオワシティ	IowaCity	文学	Literature
113	アメリカ	USA	2013/11	パデューカ	Paducah	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art
114	アメリカ	USA	2015/12	オースティン	Austin	メディアアート	Media Arts
115	アメリカ	USA	2015/12	デトロイト	Detroit	デザイン	Design
116	アメリカ	USA	2015/12	ツーソン	Tucson	食文化	Gastronomy

(注) * は定例会議の開催年, ★は市長会議の開催年.

第2-3表 ユネスコ創造都市ネットワーク登録都市：登録順

2015年12月現在 54か国 116都市

No.	登録年月	都市名	City	国名	Country	分野	Field	備考
1	2004/10	エディンバラ	Edinburgh	イギリス	UK	文学	Literature	
2	2005/07	サンタフェ	SantaFe	アメリカ	USA	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	* 2008
3	2005/08	ポパヤン	Popayán	コロンビア	Colombia	食文化	Gastronomy	
4	2005/08	ブエノスアイレス	Buenos Aires	アルゼンチン	Argentina	デザイン	Design	
5	2005/09	アスワン	Aswan	エジプト	Egypt	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
6	2005/11	ベルリン	Berlin	ドイツ	Germany	デザイン	Design	
7	2006/03	セビリア	Seville	スペイン	Spain	音楽	Music	
8	2006/05	モントリオール	Montréal	カナダ	Canada	デザイン	Design	* 2012
9	2006/05	ボローニャ	Bologna	イタリア	Italy	音楽	Music	* 2013
10	2008/06	リヨン	Lyon	フランス	France	メディアアート	Media Arts	* 2009
11	2008/08	グラスゴー	Glasgow	イギリス	UK	音楽	Music	
12	2008/08	メルボルン	Melbourne	オーストラリア	Australia	文学	Literature	
13	2008/10	神戸	Kobe	日本	Japan	デザイン	Design	
14	2008/10	名古屋	Nagoya	日本	Japan	デザイン	Design	
15	2008/11	深圳	Shenzhen	中国	China	デザイン	Design	* 2010
16	2008/11	アイオワシティ	IowaCity	アメリカ	USA	文学	Literature	
17	2009/06	金沢	Kanazawa	日本	Japan	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	★* 2015
18	2009/06	ゲント	Ghent	ベルギー	Belgium	音楽	Music	
19	2009/06	ブラッドフォード	Bradford	イギリス	UK	映画	Film	
20	2010/02	上海	Shanghai	中国	China	デザイン	Design	
21	2010/02	成都	Chengdu	中国	China	食文化	Gastronomy	* 2014
22	2010/07	ダブリン	Dublin	アイルランド	Ireland	文学	Literature	
23	2010/07	利川	Icheon	韓国	Korea	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
24	2010/07	エステルスンド	Östersund	スウェーデン	Sweden	食文化	Gastronomy	* 2016
25	2010/07	ソウル	Seoul	韓国	Korea	デザイン	Design	★* 2011
26	2010/11	サンテティエンヌ	Saint-Étienne	フランス	France	デザイン	Design	
27	2010/12	シドニー	Sydney	オーストラリア	Australia	映画	Film	
28	2011/03	グラーツ	Graz	オーストリア	Austria	デザイン	Design	
29	2011/08	レイキャヴィク	Reykjavík	アイスランド	Iceland	文学	Literature	
30	2012/03	ボゴタ	Bogotá	コロンビア	Colombia	音楽	Music	
31	2012/04	杭州	Hangzhou	中国	China	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
32	2012/05	北京	Beijing	中国	China	デザイン	Design	★ 2013
33	2012/05	全州	Jeonju	韓国	Korea	食文化	Gastronomy	
34	2012/05	ノリッチ	Norwich	イギリス	UK	文学	Literature	
35	2013/10	ブラザビル	Brazzaville	コンゴ共和国	Republic of Congo	音楽	Music	
36	2013/10	ザーレ	Zahlé	レバノン	Lebanon	食文化	Gastronomy	
37	2013/10	クラクフ	Kraków	ポーランド	Poland	文学	Literature	
38	2013/10	ファブリアーノ	Fabriano	イタリア	Italy	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	

第2-3 表つづき

39	2013/11	アンギヤン=レ=バン	Enghien-les-Bains	フランス	France	メディアアート	Media Arts	* 2017
40	2013/11	パデューカ	Paducah	アメリカ	USA	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
41	2013/11	札幌	Sapporo	日本	Japan	メディアアート	Media Arts	
42	2014/12	ダニーデン	Dunedin	ニュージーランド	New Zealand	文学	Literature	
43	2014/12	グラナダ	Granada	スペイン	Spain	文学	Literature	
44	2014/12	ハイデルベルグ	Heidelberg	ドイツ	Germany	文学	Literature	
45	2014/12	プラハ	Prague	チェコ	Czech	文学	Literature	
46	2014/12	釜山	Busan	韓国	Korea	映画	Film	
47	2014/12	ゴールウェイ	Galway	アイルランド	Ireland	映画	Film	
48	2014/12	ソフィア	Sofia	ブルガリア	Bulgaria	映画	Film	
49	2014/12	浜松	Hamamatsu	日本	Japan	音楽	Music	
50	2014/12	ハノーファー	Hannover	ドイツ	Germany	音楽	Music	
51	2014/12	マンハイム	Mannheim	ドイツ	Germany	音楽	Music	
52	2014/12	ジャクメル	Jakmël	ハイチ	Haiti	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
53	2014/12	景徳鎮	Jingdezhen	中国	China	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
54	2014/12	蘇州	Suzhou	中国	China	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
55	2014/12	ナッソー	Nassau	バハマ	Bahamas	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
56	2014/12	ペカロンガン	Pekalongan	インドネシア	Indonesia	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
57	2014/12	ビルバオ	Bilbao	スペイン	Spain	デザイン	Design	
58	2014/12	クリチバ	Curitiba	ブラジル	Brazil	デザイン	Design	
59	2014/12	ダンディー	Dundee	イギリス	UK	デザイン	Design	
60	2014/12	ヘルシンキ	Helsinki	フィンランド	Finland	デザイン	Design	
61	2014/12	トリノ	Torin	イタリア	Italy	デザイン	Design	
62	2014/12	ダカール	Dakar	セネガル	Senegal	メディアアート	Media Arts	
63	2014/12	光州	Gwangju	韓国	Korea	メディアアート	Media Arts	
64	2014/12	リンツ	Linz	オーストリア	Austria	メディアアート	Media Arts	
65	2014/12	テルアビブ・ヤッファ	TelAviv-Yafa	イスラエル	Israel	メディアアート	Media Arts	
66	2014/12	ヨーク	York	イギリス	UK	メディアアート	Media Arts	
67	2014/12	順徳	Shunde	中国	China	食文化	Gastronomy	
68	2014/12	フロリアノポリス	Florianópolis	ブラジル	Brazil	食文化	Gastronomy	
69	2014/12	鶴岡	Tsuruoka	日本	Japan	食文化	Gastronomy	
70	2015/12	アデレード	Adelaide	オーストラリア	Australia	音楽	Music	
71	2015/12	アル・アサ	Al-Ahsa	サウジアラビア	Saudi Arabia	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
72	2015/12	オースティン	Austin	アメリカ	USA	メディアアート	Media Arts	
73	2015/12	バグダッド	Baghdad	イラク	Iraq	文学	Literature	
74	2015/12	バーミヤーン	Bamiyan	アフガニスタン	Afghanistan	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art	
75	2015/12	バンドン	Bandung	インドネシア	Indonesia	デザイン	Design	
76	2015/12	バルセロナ	Barcelona	スペイン	Spain	文学	Literature	
77	2015/12	ベレン	Belém	ブラジル	Brazil	食文化	Gastronomy	
78	2015/12	ベルゲン	Bergen	ノルウェー	Norway	食文化	Gastronomy	
79	2015/12	ピトラ	Bitola	マケドニア	Macedonia	映画	Film	
80	2015/12	ブタペスト	Budapest	ハンガリー	Hungary	デザイン	Design	

第 2-3 表 つづき

81	2015/12	ブルゴス	Burgos	スペイン	Spain	食文化	Gastronomy
82	2015/12	デニア	Dénia	スペイン	Spain	食文化	Gastronomy
83	2015/12	デトロイト	Detroit	アメリカ	USA	デザイン	Design
84	2015/12	ドゥラン	Durán	エクアドル	Ecuador	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art
85	2015/12	エンセナーダ	Ensenada	メキシコ	Mexico	食文化	Gastronomy
86	2015/12	ガジアンテプ	Gaziantep	トルコ	Turkey	食文化	Gastronomy
87	2015/12	イダーニャ・ア・ノバ	Idanha-a-Nova	ポルトガル	Portugal	音楽	Music
88	2015/12	イスファハーン	Isfahan	イラン	Iran	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art
89	2015/12	ジャイプル	Jaipur	インド	India	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art
90	2015/12	カトビーツェ	Katowice	ポーランド	Poland	音楽	Music
91	2015/12	カウナス	Kaunas	リトアニア	Lithuania	デザイン	Design
92	2015/12	キングストン	Kingston	ジャマイカ	Jamaica	音楽	Music
93	2015/12	キンシャサ	Kinshasa	コンゴ民主共和国	DRC	音楽	Music
94	2015/12	リヴァプール	Liverpool	イギリス	UK	音楽	Music
95	2015/12	リュブリャナ	Ljubljana	スロベニア	Slovenia	文学	Literature
96	2015/12	ルブンバシ	Lubumbashi	コンゴ民主共和国	DRC	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art
97	2015/12	ルビウ	Lviv	ウクライナ	Ukraine	文学	Literature
98	2015/12	メデジン	Medellín	コロンビア	Colombia	音楽	Music
99	2015/12	モンテビデオ	Montevideo	ウルグアイ	Uruguay	文学	Literature
100	2015/12	ノッティンガム	Nottingham	イギリス	UK	文学	Literature
101	2015/12	オビドス	Óbidos	ポルトガル	Portugal	文学	Literature
102	2015/12	パルマ	Parma	イタリア	Italy	食文化	Gastronomy
103	2015/12	プーケット	Phuket	タイ	Thailand	食文化	Gastronomy
104	2015/12	プエブラ	Puebla	メキシコ	Mexico	デザイン	Design
105	2015/12	ラシュト	Rasht	イラン	Iran	食文化	Gastronomy
106	2015/12	ローマ	Rome	イタリア	Italy	映画	Film
107	2015/12	サルヴァドール	Salvador	ブラジル	Brazil	音楽	Music
108	2015/12	サン・クリストバル・デ・ラス・カサス	San Cristóbal de las Casas	メキシコ	Mexico	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art
109	2015/12	サントス	Santos	ブラジル	Brazil	映画	Film
110	2015/12	篠山	Sasayama	日本	Japan	クラフト&フォークアート	Crafts and Folk Art
111	2015/12	シンガポール	Singapore	シンガポール	Singapore	デザイン	Design
112	2015/12	タルトゥ	Tartu	エストニア	Estonia	文学	Literature
113	2015/12	統営 (トンヨン)	Tongyeong	韓国	Korea	音楽	Music
114	2015/12	ツーソン	Tucson	アメリカ	USA	食文化	Gastronomy
115	2015/12	ウリヤノフスク	Ulyanovsk	ロシア	Russian Federation	文学	Literature
116	2015/12	バラナシ	Varanasi	インド	India	音楽	Music

(注) *は定例会議の開催年, ★は市長会議の開催年.

2015年12月に登録された47市の分野別の都市数

映画 3 音楽 10 クラフト & フォークアート 8 食文化 10

デザイン 6 文学 9 メディアアート 1

ノウハウ、技能訓練と技術を互いに共有し、特に発展途上国の都市を支援する計画に加わることが求められる。登録の条件として、文化産業の集積や人材養成機関の充実などのほかに、創造都市の実現に向けた常設の推進団体の活動や、特に公共セクターと民間セクター、市民セクターの連携を重視していることが特徴的である。

3 第11回ユネスコ創造都市ネットワーク年次総会 —フランス・アンギャン・レバン会議

3.1 戦略的フレームワークの採択

2017年度の第11回ユネスコ創造都市ネットワーク年次総会において新たに採択された戦略的フレームワークは、UCCN全体の集約的なビジョンが示されたものである。それは、ユネスコ及びUCCNの認定都市の両者が共有し、文化や創造性が都市の発展に資するという点で世界的なメッセージを有しており、2016年に開催されたエステルズド（スウェーデン）年次総会で認定都市により確認されたことを受け作成された。文書の1次案は2017年4月にアンギャン・レバン市で開催された専門家会議で協議された後、6～7月のアンギャン・レバン市で開催された年次総会で最終版が採択されたものである。

この戦略的フレームワークは、ネットワーク内の様々なレベルで実施された議論をもとに、時間をかけて獲得した業績を集約したもののや、2004年のUCCN創設以来、事務局や認定都市が実施した一連の事業をもとにしている。特に、UCCNの過去の年次総会での決定事項や専門家バンクの拡大、研究プロジェクト「UCCNの可能性を最大化する」、第2回ユネスコ創造都市北京サミット、科学会議「持続可能な地球発展のための創造性の尊重と評価」、UCCN認定都市モニタリングエクササイズ、ネットワーク全体のデータや優良事例の収集及び分析、その他の研究プロジェクトに基づいている。同時に、このフレームワークは、ユネスコの戦略的ビジョンに沿ったものであり、ユネスコ「文化多様性条約」、国連「持続可能な開発のための2030アジェンダ」、

ハビタット「ニュー・アーバン・アジェンダ」の履行の一環であるとともに、ネットワークに新たな機会を提供するものとして示されている。また、ネットワークの未来への集約的なビジョンの実現は、十分な予算によって支援されるべきであると強調されている。

戦略的フレームワークに掲げられた目標とアクションプランは以下のとおりである。

■集約的な未来像 (a)：ネットワークの戦略的目標

目標 1	国連「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」のフレームワークにおいて、認定都市の革新的な力を国際的に提示
目標 2	ネットワークの健全な成長管理
目標 3	ネットワークの地理的均衡性の確保
目標 4	財政面での持続可能性の確保

■集約的な未来像 (b)：優先事項とアクションプラン

①提案活動

前述の戦略的目標を達成するため、ユネスコ及び認定都市は下記の共同活動に従事することが提案された。

- ・ 事業や活動における認定都市の経験の収集
- ・ 文化に関連した都市政策に関するガイドライン・戦略・運営ツールの開発
- ・ パイロットプロジェクトの実施
- ・ 研修モジュール・活動の構築

②コミュニケーション広報活動

以下の活動を通してネットワークへの関心換気を高めることが提示された。

- ・ 広報活動及び優良事例を紹介する情報提供資料の出版（認知度の向上・交流強化）
- ・ ネットワーク活動に関連する国際イベントへの参加
（ネットワーク活動の国際展開・情報共有の促進）
- ・ ユーザー参加型のウェブサイトの構築（認定都市の経験・データの共有化）

■集約的な未来像 (c)：実施形式

①既存ガバナンスの仕組みに基づく形成

ユネスコ及び認定都市のこれまでの取り組みは、ネットワークのガバナンスシステムの効率性を改善して、都市の選定プロセスや評価の手続きが標準化され改善されてきた。

・事務局

ネットワーク事務局はユネスコが開設した。そのことはユネスコによってネットワークに付与された戦略的重要性を反映しているだけでなく、ネットワークがユネスコの国際的な評価や影響から利益を得ていることも示している。認定都市は、事務局の指導的役割を認めて支持している。認定都市は、ユネスコに対して働きかけて、ネットワークの認知度を上げるため、モニタリングの仕組みや研究活動を強化するだけでなく、ビジョンを示し、戦略的な指導を実施し、テーマ別の事業を提案し、プロジェクトをユネスコと共同で実施するよう促している。ネットワークは認定都市を大きな国連ファミリーに統合することによって、世界的なプラットフォームを形成している。

・ステアリンググループ

2014年に組織されたステアリンググループは、認定都市と事務局との間の関係を確実なものとするための効率的な協力メカニズムであり、ネットワークの価値ある財産の一つをなしている。ステアリンググループの活動範囲は、ネットワーク全体のデータ収集、パイロットプログラムの実施、連携や認定都市の能力育成にまで拡大するだろう。一部の都市が指摘しているように、それぞれの分野でステアリンググループを設置し協力する仕組みは、特に交替でコーディネータを務めることで調整され、全都市が公平に参加することになる。

・7つの創造分野

UCCNの7つの創造分野は、各都市を特徴づける象徴を提供し、可視化を保障し、事業の実施を支える基金調達を促進する。また、これらの創造分野はネットワークのアイデンティティや戦略的な位置づけを反映し、その存在感を示すための付加価値を形成している。創造分野を増やすことは、短期的

な優先事項ではないが、現在の創造分野では考慮されない新たな創造性の表現をネットワークに含めるのであれば、長期的には検討されるだろう。創造分野にこだわらず認定都市間で創造分野を横断した協力をさらに進めることが強化されるべきである。それは、特にテーマごとの分野や地理的な分類で協力し、「ニュー・アーバン・アジェンダ」のアプローチの趣旨をくみ取りながら、様々な創造分野を含めた統合的で地域的なアプローチを強化するためであり、本当の国際的なネットワークとしてネットワークをさらに強化するためである。

・新規加入のための募集周期

2015年に決定した2年ごとの新規加入のための募集周期によって、新たなメンバーを円滑に統合できネットワークの成長がより持続的になる。また、2年の周期は、事務局の運営能力にも合致し、年度ごとの募集は他の核となる活動を犠牲にし、過度な負担を引き起こすことになる。ネットワーク内でのプロジェクトの開発、連携やネットワーク活動の発展にさらなる余力を与え革新の可能性を拡大することになる。

・年次総会

年次総会の開催都市の選定は、ネットワークの目標達成に大きく起因する。年次総会によって認定都市間だけでなく事務局との関係を強化し、新たな認定都市との統合を促進することができる。

・評価及び選定のプロセス

これは近年、合理化され、基準を用いた厳格なプロセスに基づいている。登録申請都市の評価及び認定への協力に関する活動は、これからもユネスコの責任において実施され、ユネスコが指定した独立した専門家や非政府組織、独立した機関と創造分野によって組織された認定都市とともに、内外での協議のうえ実施される。外部の専門家やステアリンググループによる推薦に基づき、認定の最終決定はユネスコの事務局長の特権にて行う。事務局長は、国連の執行委員会、総会及び加盟国に説明責任がある。ユネスコは、国連の

一機関として、確実に全ての国が参加し、それぞれの地域から公平に代表者が参加するべきである。ネットワークの創造性に関する統合されたビジョンに沿って、評価メカニズムや選定基準が今後もそれぞれの創造分野にわたって包括的に適用できるものであることが重要である。

②新たな基金調達フレームワークの設置

ネットワークの財政的持続可能性を確保するため、より効率的で持続可能な基金調達フレームワークが開発される。ユネスコは、ネットワークの日々の管理業務や基本的な機能を継続させるため、これからも多額の資金を拠出する。これには、新規加盟都市の募集やプロジェクトの管理、年次総会の開催、モニタリングやレポートの実施、優良事例の収集及びガイダンスや能力育成資料の開発が含まれる。しかし、ネットワークの潜在能力を発揮するためには、さらなる財源が結集されなければならない。これらの追加基金は、ユネスコ以外の財源から集めなければならない。そのため、ユネスコが強化され促進されるべきである。このメカニズムを開始するために、認定都市によって毎年2,000米ドルの寄付が提案されてきた。この財源的寄付には、今後も自発的なものであり、基金の一部をネットワークの国際的分野横断的活動のためのアクションプランの実行に割り当てることも可能である。各都市からの2,000米ドルの自発的な寄付では戦略の実施に関連して必要と考えられる諸経費を賄えないことを考えると、この金額以上の寄付が推奨される。

③共同の創造的連携メカニズムの実施

ユネスコ事務局がさらに体系的で構造化された協力メカニズムを構築すれば、申請準備だけでなく実際に認定された場合のアクションプランの実施時にも、申請都市と現在の認定都市間で連携が促進されるだろう。この双方に利する協力メカニズムは2017年の募集を機に導入され、このフレームワークの初バージョンでは、最も認定都市が少ない地域であるアフリカの利益となってきた。多くの認定都市が本戦略的フレームワークに積極的に参加し、さらに多くの認定都市が今後、本事業に参加する関心があることを表明してきた。このよ

うな初めての経験に基づき、本協力メカニズムは、今後、ネットワークのガバナンスの仕組みの一部として確立され、他地域のグループにも拡大する可能性がある。また、このメカニズムは、長期的に（2年から3年）支援を提供し、申請都市が徐々に都市のビジョンや戦略、アクションプランを改善し、それらを実行する能力を高めることを促す一つの方法となるだろう。

3.2 10都市のモニタリングレポートと日本のUCCN都市に関する評価

本総会では、2007～2009年における認定都市を対象に10都市のモニタリングレポートに対する評価発表が行われ、日本からは、金沢市（クラフト＆フォークアート）、神戸市（デザイン）、名古屋市（デザイン）の3都市について実施された。いずれも他都市と比べて以下のように高い評価を得ている。評価の数字は5段階評価で5が最高点。

●金沢市【クラフト＆フォークアート分野】

総括	大変良い成績だった。地域での取り組みは良い。伝統の保存継承も良い。認定後に海外からの観光客が3倍に増加。次世代の育成も良い。全項目満点。
評価	・ Report Quality : Excellent ・ 参加レベル : High ・ 地域イベント : 5 ・ UCCN 貢献度 : 5 ・ 将来計画 : 5
優良事例	・ クリエイティブ・ワルツ（若手工芸家海外研修支援事業）を通じた地域の工芸継承 ・ 金沢・世界工芸トリエンナーレを通じた地域人材の育成
改善に向けて強みと機会	・ 金沢・世界工芸コンペティション ・ UCCN 認定後、観光客が3倍に増加

●神戸市【デザイン分野】

総括	大変良い成績だった。デザインを活用した市民参加型事業が良い。デザインと他の分野をつなげるということが良かった。全項目満点。
評価	・ Report Quality : Excellent ・ 参加レベル : High ・ 地域イベント : 5 ・ UCCN 貢献度 : 5 ・ 将来計画 : 5
優良事例	・ クリエイティブディレクターがデザインを通じて行政全般のアドバイザリーを実施。

	<ul style="list-style-type: none"> ・全年齢を対象としたプログラムを実施 ・プログラムを実施することによりデザイン産業等の国際展開に寄与
改善に向けて強みと機会	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムを通じて若年から高齢層まであらゆる年齢層にデザイン事業の接点を創出 ・社会課題やQOL（生活の豊かさ）に注力したデザイン事業の実施 ・新たな取り組みの促進やより多くの地域データから得られるベネフィット

●名古屋市【デザイン分野】

総括	地域における他都市との連携は高得点. コミュニケーション広報は改善可能.
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ Report Quality : Excellent ・ UCCN 貢献度 : 5 ・ 参加レベル : High ・ 将来計画 : 4 ・ 地域イベント : 5
優良事例	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいちトリエンナーレの開催により, 国内外の人材育成や他のクリエイティブセクターへの貢献を促進 ・ デザインロゴマークのコンペを通じてデザイン関連の認知度の向上
改善に向けて強みと機会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政投資 ・ ユネスコ創造都市ネットワークメンバーとの共同事業

日本の3都市のうち金沢は、2015年にUCCN第9回年次総会を開催し成功させて、ネットワークへの貢献が高く評価された。そして、金沢21世紀美術館や、金沢美術工芸大学、さらには都心部の多様な工芸ショップや工房が織り成す文化地区の魅力アップとそれによる海外観光客の大幅増加を通じた地域経済への貢献が他都市のモデルとして注目された。また、神戸は、震災復興後のデザイン都市としての取り組みやとくに「ちびっこうべ」など子どもから高齢者までを対象にした、デザイン拠点KIITOの活動が高く評価された。

これら、金沢や神戸の取り組みは後述する国内の創造都市ネットワークの展開にも好影響を与えており、リーダー都市としての自覚形成にも帰結している。

一方、以下に見るように、中国の深圳、米国のアイオワシティ、オーストラリアのメルボルンは、金沢、神戸と同様に満点であったが、英国のグラスゴーとベルギーのアントワープはバランスが悪く、特にフランスのリヨンが全般的

に低い評価で、今後の改善方向が指摘された。

■ 2007～2009 年に認定された 10 都市のモニタリングレポートに対する評価

金沢市
【クラフト&フォークアート分野】



神戸市
【デザイン分野】



名古屋市
【デザイン分野】



リヨン (フランス)
【メディアアート分野】

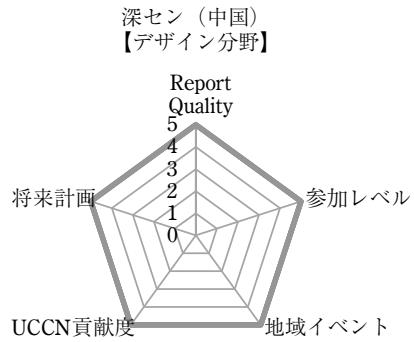


ブラッドフォード (イギリス)
【映画分野】



グラスゴー (イギリス)
【音楽分野】





3.3 2017 年年次総会の結語の主な内容

アンギャン・レバン会議の最後に採択された結語の内容は以下のとおりであり、ユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN）の認定都市の同意を得た。

- ・ユネスコ事務局による新たな「戦略的フレーム」の採用
- ・次回募集（2019年）については、同一国からの加盟申請について、2つの異なる分野から最大2都市が評価プロセスを経て認定される（3都市→2都市に減）。
- ・地理的バランスの確保のため、今後も途上国からの申請を奨励し支援する。

- ・ステアリンググループの任期及び交替について、2年の任期後、副コーディネータ都市がコーディネータ都市に就任する案を提示。
- ・財政的持続可能性のため、認定都市による金銭的な寄付の必要性を認める。

以上のように、UCCNの戦略的フレームに、SDGsへの貢献が掲げられることにより、創造都市のグローバルアライアンスの目的がいつそう具体化されることになった。とくに、SDGsの17の目標のうち、目標11には持続可能な都市として、「包摂的で安全かつレジリエントで持続可能な都市及び人間居住地を実現する」とされており、これに向けて、より具体的な都市毎の目標設定と取り組みが求められることになり、同時にとくに途上国との都市連携によってSDGsに貢献することが重視されることとなったのが、アンギャン・レバン会議の意義であるといつてよいであろう。

包摂都市やレジリエント都市の動向については、別稿において検討しているが(佐々木, 2009, 2017), 世界的にもロックフェラー財団が100のレジリエント都市の認定を行つて、政策的展開を始めており、ニューヨーク、パリとともに日本からは京都と富山が選定されて、レジリエント戦略を策定中であり、その成果が注目されるところである。

4 東アジア文化都市と創造都市ネットワーク日本

ユネスコが推進するグローバルな創造都市ネットワークと重なるように、EUや国レベルの都市ネットワークが展開されている。一国レベルの創造都市ネットワークとしては、カナダの創造都市ネットワーク Creative City Network of Canada : CCNC が1997年に発足し、約130の自治体が加盟して活発な活動を展開してきた。トロント、モントリオール、バンクーバーなどの大都市のみならず東西に広がる国土の地理的特徴と、公用語が英仏2か国語からなる多様性を背景として、カナダ文化遺産省のバンクーバー事務所が主

導して都市ネットワークが構築された。CCNC の運動の目的は、編隊を組む鳥の姿を喩にした次のような African Proverb に要約される。

If you want to go fast, go alone; If you want to go far, go together.

つまり、大きな都市と小さな都市がネットワークを組み、互いに先頭を交代しながらゆっくりとしかも、遠くまで進んでゆくことを理念としたのである。

日本においても、カナダの事例を参考に、2013年1月に横浜市において、創造都市ネットワーク日本 Creative City Network of Japan : CCNJ が立ち上がり、2017年8月で96自治体が加盟しており、東京オリンピックが開催される2020年までに全自治体の1割にあたる170自治体の加盟を目標にしている。(第3表参照)

CCNJ の特徴は、大都市、地方中小都市、農山村が加盟し、人口規模や地域特性の上で際立った多様性をもっていることであり、これらが連携してプラットフォームを形成することで、文化多様性に根ざした創造都市と創造農村の相互関係の発展が期待される。

CCNJ の今後の課題として、1) 世界の創造都市間の連携・交流を促進するため、創造都市に関するあらゆる情報・知見を収集し、経験交流を行う「創造都市政策センター」を置き、2) 自治体職員やアート NPO、学生、市民などの創造都市実現に向けた研修を中心に政策能力育成を図ることを掲げている。

今後、このネットワークを全国に広げてゆくことによって、長引く不況と大災害に遭遇してきた日本社会に地域から創造的に発展・再生する新たな活力をもたらすこと、さらに、アジアにおいて平和で共生的な創造都市ネットワークを構築する礎となることも期待されており、創造的で包摂的、レジリエントな都市への取り組みを、UCCN とともに連携して進めることが重要になっている。その点で、既に日本の過疎地域などで実践されている「創造農村」の取り組みは、「地域に根ざした革新的で柔軟な経済システムを備え、ローカルな社会的課題や、あるいはグローバルな環境問題の課題に対して、創造的問題解決を行えるような『創造の場』に富んだ地域」(佐々木他, 2014) として

第 3 表 創造都市ネットワーク日本の参加団体一覧

■自治体

(96 自治体：平成 29 年 8 月 10 日現在)

北海道・東北	札幌市, 美瑛市, 東川町, 美瑛町, 剣淵町 (以上, 北海道), 八戸市 (青森県), 仙台市, 多賀城市, 加美町 (以上, 宮城県), 仙北市 (秋田県), 山形市, 鶴岡市, 長井市 (以上, 山形県), いわき市, 白河市, 喜多方市, 伊達市 (以上, 福島県)
関東・甲信越	取手市 (茨城県), 中之条町 (群馬県), さいたま市, 草加市, 富士見市 (以上, 埼玉県), 松戸市, 佐倉市 (以上, 千葉県), 豊島区 (東京都), 横浜市, 小田原市 (以上, 神奈川県), 新潟市, 三条市, 十日町市, 津南町 (以上, 新潟県), 木曾町 (長野県)
北陸・東海・近畿	高岡市, 氷見市, 南砺市 (以上, 富山県), 金沢市 (石川県), 大垣市, 可児市 (以上, 岐阜県), 静岡市, 浜松市, 三島市 (以上, 静岡県), 名古屋市, 瀬戸市, 碧南市 (以上, 愛知県), 長浜市, 草津市, 守山市, 甲賀市 (以上, 滋賀県), 京都市, 舞鶴市, 南丹市, 与謝野町 (以上, 京都府), 大阪市, 堺市, 豊中市 (以上, 大阪府), 神戸市, 姫路市, 豊岡市, 篠山市 (以上, 兵庫県), 奈良市, 斑鳩町, 明日香村 (以上, 奈良県)
中国・四国	出雲市 (島根県), 岡山市, 真庭市, 美作市 (以上, 岡山県) 広島市, 尾道市 (以上, 広島県), 宇部市, 山口市, 岩国市 (以上, 山口県), 神山町 (徳島県), 高松市 (香川県), 松山市 (愛媛県), 高知市 (高知県)
九州・沖縄	北九州市, 久留米市 (以上, 福岡県), 熊本市, 多良木町 (以上, 熊本県), 大分市, 別府市, 竹田市 (以上, 大分県), 石垣市 (沖縄県)
都道府県	岩手県, 埼玉県, 神奈川県, 滋賀県, 京都府, 大阪府, 兵庫県, 鳥取県, 岡山県, 香川県, 徳島県, 佐賀県, 大分県

■自治体以外の団体

(36 団体, 平成 29 年 9 月 14 日現在)

一般財団法人アーツエイド東北 | NPO 法人アート NPO リンク | NPO 法人いわてアートサポートセンター | 一般社団法人エーシーオー沖縄 | 公益財団法人大垣市文化事業団 | 公益社団法人岡山県文化連盟 | 公益財団法人岡山シンフォニーホール | 公益財団法人沖縄県文化振興会 | 公益財団法人音楽文化創造 | 公益財団法人関西・大阪 21 世紀協会 | NPO 法人キッズファン | 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 | 公益財団法人京都市芸術文化協会 | NPO 法人 Creative Association | 一般社団法人クリエイティブクラスター | NPO 法人グリーンバレー | NPO 法人黄金町エリアマネジメントセンター | NPO 法人さをりひろば | 滋賀次世代文化芸術センター | NPO 法人駿河地域経営支援研究所 | 大道芸ワールドカップ実行委員会 | NPO 法人 DANCE BOX | NPO 法人都市文化創造機構 | NPO 法人鳥の劇場 | 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団 | 株式会社ニッセイ基礎研究所 | 公益社団法人日本オーケストラ連盟 | 一般財団法人日本ファッション協会 | 一般社団法人ノオト | 公益財団法人東松山文化まちづくり公社 | 公益財団法人兵庫県芸術文化協会 | 株式会社バウハウス | 公益財団法人びわ湖芸術文化財団 | 福岡県文化団体連合 | NPO 法人 BEPPU PROJECT | NPO 法人山形国際ドキュメンタリー映画祭 | 公益財団法人山本能楽堂 | 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

■幹事団体 (五十音順)

金沢市, 可児市, 京都市, 神戸市, 篠山市, 札幌市, 鶴岡市, 新潟市 (代表), 八戸市, 浜松市, 東川町, 横浜市

定義されているように、SDGsに沿った地域のあり方として、今後の豊かな成熟社会の実現に向けた先鞭となる優良事例を示すことができるのではないかとされる。同時に、今後の展開において、UCCNのリーダー都市として金沢や神戸が果たす役割は大きいと思われる。

また、東アジア地域においても、2011年に奈良市で開催された「第3回日中韓文化大臣会合」において日本から提案された「東アジア文化都市 East Asian City of Culture」事業が日本・中国・韓国の3国間で2014年より開始されることになった。これは、1985年に始まった欧州文化首都 European Capital of Cultureをモデルとしており、その目的は次の3つである。

第1に、東アジア域内の相互理解と連帯感の形成の促進。

第2に、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化。

第3に、各都市の文化的特徴を活かして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を図ることによる、都市の持続的発展。

つまり、都市間の文化交流の促進と、文化産業による都市経済の持続的発展とによって、東アジアの平和と共生をめざしている。ともすれば歴史問題や領土問題で国家間の軋轢が高まっている中で、都市と都市とのネットワークが国境の壁や障壁を乗り越えることができるのか、大きなチャレンジが始まっている。

2014年には、横浜市、泉州市、光州広域市、2015年には、新潟市、青島市、清州市、2016年には、奈良市、寧波市、濟州特別自治道、2017年には京都市、長沙市、大邱広域市が選ばれて1年間に亘って多様な芸術文化イベントに取り組み、相互に文化交流事業を行っている。

2017年8月26日午前には第7回日中韓文化大臣会合が京都市で開催されて、2018年の開催都市として、金沢市、ハルピン市、釜山広域市が決定され、今後、東アジア文化都市の連盟やネットワーク化について検討を開始することが確認されている。

同日午後には、京都市の主催により「東アジア文化都市サミット」が開催

された。これまでに「東アジア文化都市」に選定された日中韓3か国の12都市、2018年開催都市の3都市に「ASEAN文化都市」の4都市を加えた19都市の代表者（首長等）が初めて一堂に京都に集まり、各都市における取り組みの成果を共有し、今後の東アジア文化都市事業の発展方策を具体化する契機とするとともに、3か国の都市間交流をはじめとする文化交流の一層の促進方策について議論を行い、ASEAN文化都市や欧州文化首都との連携方策など、東アジア文化都市事業の今後の充実方策を検討することを盛り込んだ「京都宣言」を採択している。

このように、創造都市ネットワークがグローバル、リージョナル、ナショナルの3つのレベルで広がっていくことが「大国の世紀」であった20世紀に代わって21世紀にふさわしい「都市の世紀」を準備していくものと思われる。

まとめに代えて

現在の不安定な世界経済を再建し、根本的な社会システム転換を企図する上で、創造都市のネットワークの発展を確実なものにするためにも、以下の諸点は緊要だと思われる。

第1に、金融を中心とした市場原理主義的グローバリゼーションから、文化的多様性を認め合うグローバリゼーションへの転換。

第2に、大量生産＝大量消費システム（フォードイズム）から脱大量生産の文化的生産に基づく「創造経済」への転換。

第3に、文化的価値に裏打ちされた「固有の価値 intrinsic value」を生み出す創造的仕事の復権と、偽りの消費ブームを超えて自ら生活文化を創造する「文化創造型生活者」の登場。

第4に、従来型の福祉給付でなく、ベーシックインカムを保障しながら、市民一人ひとりの創造性を発揮できる包摂型・全員参画型社会への制度設計。

第5に、地球環境の激変や大災害を乗り越える、復元力のある創造都市に関する研究。

追記 本稿執筆の2017年10月31日にユネスコは新たに64都市の加入を認定して、創造都市ネットワークは180都市となっている。日本からは山形市が映画分野で認定された。

【参考文献】

- Florida R., *The Rise of the Creative Class*, New York: Basic Books, 2002. (井口典夫訳『クリエイティブ資本論』ダイヤモンド社, 2008年.)
- Landry, C., *The Creative City: A Toolkit for Urban Innovators*, London: Comedia, 2000. (後藤和子監訳『創造的都市』日本評論社, 2003年.)
- Piketty, T., *La Capital au XX1e Siècle*, Seuil, 2013.
- Sassen, S., *The Global City*, Princeton University Press, 1991, 2001. (伊豫谷登士翁・大井由紀訳『グローバルシティ』筑摩書房, 2008年.)
- Sassen, S., "The city: Its return as a lens for social theory", *City, Culture and Society*, Vol. 1, no. 1, Elsevier, 2010, pp.3-11.
- Sen, A., *Identity and Violence: The Illusion of Destiny. Issues of Our Time*. New York: W.W. Norton & Co., 2006.
- 佐々木雅幸『創造都市の経済学』勁草書房, 1997年.
- 佐々木雅幸『創造都市への挑戦』岩波書店, 2001年, 岩波現代文庫, 2012年.
- 佐々木雅幸「文化多様性と社会包摂に向かう創造都市」佐々木雅幸・水内俊雄編『創造都市と社会包摂』水曜社, 2009年, 13-43ページ.
- 佐々木雅幸・川井田祥子・萩原雅也編『創造農村』学芸出版社, 2014年.
- 佐々木雅幸「レジリエントな創造都市に向けて」大阪市立大学都市研究プラザ他編『包摂都市のレジリエンス』水曜社, 2017年, 11-30ページ.
- 安江則子「ユネスコによる文化遺産保護へのアプローチとその変容」慶應義塾大学法学部編『慶應の政治学 国際政治』2008年, 309-331ページ.

(ささき まさゆき・同志社大学経済学部特別客員教授)

(たけや たかこ・同志社大学創造経済研究センター嘱託研究員)

【資料】

第 11 回ユネスコ創造都市ネットワーク年次総会－アンギャン・レバン会議 開催概要

日時	2017 年 6 月 30 日（金）～7 月 2 日（日）
会場	フランス・アンギャン・レバン市内
文化行事 開会式	<input type="checkbox"/> 歓迎挨拶（アンギャン・レバン市長 フィリップ・スール氏） <input type="checkbox"/> 挨拶（ユネスコ創造部ディレクター ジョティ・ホサグラファー氏） <概要・主な文化行事>（各分野及び各種文化行事を会議と並行開催） <input type="checkbox"/> クラフト & フォークアート分野「クラフト & フォークアート都市を巡る旅」：タッチパネル式ディスプレイによる各都市紹介 <input type="checkbox"/> メディアアート分野「データ都市」：メディアアートに関する作品展示会 <input type="checkbox"/> デザイン分野「私に話している？コミュニケーションツール：使用と実践」：コミュニケーションツールを使用した製品・作品の展示会 <input type="checkbox"/> 文学分野「地政学的横断」：壁面を仮想の世界地図に見立てた各文学都市による取組紹介
年次総会 開会式	<input type="checkbox"/> 芸術パフォーマンス（ヴァレリー・コルディ氏） <input type="checkbox"/> 歓迎挨拶（アンギャン・レバン市長兼ヴァルドワーズ ^o 県議会第 1 副議長 フィリップ・スール氏） <input type="checkbox"/> 挨拶（ユネスコ事務局長 イリナ・ボコバ氏）※ ビデオメッセージ <input type="checkbox"/> 開会挨拶（フランスユネスコ国内委員会会長 ダニエル・ジャンコット氏） <input type="checkbox"/> 基調講演「都市の創造者から見た都市について」（フランス国鉄 SNCF 子会社 AREP 創設者兼役員 エティエンヌ・トリコ氏） <input type="checkbox"/> 年次総会の概要説明（ユネスコ創造部ディレクター ジョティ・ホサグラファー氏） <input type="checkbox"/> 創造都市の経験を基にした「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」及び「ニュー・アーバン・アジェンダ」の実施に向けて（ユネスコ創造部ディレクター ジョティ・ホサグラファー氏） <input type="checkbox"/> 優良事例の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・インドネシア・バンドン ・エクアドル・ドゥラン ・コンゴ民主共和国・キンシャサ ・レバノン・ザーレ <input type="checkbox"/> ユネスコ創造都市ネットワーク事務局からの活動報告 [2016～2017 年]（ユネスコ創造部プログラム及び関係者支援ユニット専門官 デニス・バックス氏） <主な発言等> <ul style="list-style-type: none"> ・事業報告（ユネスコ本部での日本都市による展示等） ・モニタリングレポート ・専門家データベースの拡大 ・ユネスコ創造都市の戦略枠組策定作業 ・ユネスコ HP を通じた広報活動 ・認定都市間のコミュニケーション手段の改善 ・資金調達 / 等
分野別ワークショップ	

分野別専門家交流	
市長会議	<input type="checkbox"/> 持続可能な都市開発のための文化に関するユネスコ・グローバルレポート「文化：都市の未来」の概要説明（ユネスコ文化局事務局長補 フランチェスコ・バンダリン氏） <input type="checkbox"/> 市長による都市の事業やプログラム、政策についての発表 <主なテーマ> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な開発のための 2030 アジェンダの都市での実施に対する戦略的貢献 ・ユネスコ創造都市ネットワークに対するフォローアップ活動の影響 ・文化を取り入れた都市開発政策に関する UCCN の優良事例 ・都市レベルで 2030 アジェンダを実践する実験の場としての創造都市の強化 ・持続可能な都市開発における創造性の重要性及びアジェンダ目標 11 の実践 <発表都市：(20 都市) > アルアハサ、ベレン、ベルゲン、デニア、ダブリン、ダニーデン、アンギャン・レバン、景德鎮、カトピツェ、キンシャサ、ノッティンガム、エステルズド、パデューカ、プエブラ、サンテティエンス、サンタフェ、サントス、篠山、深圳、ザーレ（発表順） <input type="checkbox"/> 市長宣言の採択
モニタリングレポートの報告	<報告者> <ul style="list-style-type: none"> ・デトロイト市【デザイン分野】（エリー・シュナイダー氏） <報告：(10 都市) > ※ 2007～2009 年認定都市対象 <ul style="list-style-type: none"> ・ブラッドフォード（イギリス）【映画分野】 ・グラスゴー（イギリス）【音楽分野】 ・ゲント（ベルギー）【音楽分野】 ・リヨン（フランス）【メディアアート分野】 ・金沢市（日本）【クラフト & フォークアート分野】 ・神戸市（日本）【デザイン分野】 ・名古屋市（日本）【デザイン分野】 ・深圳（中国）【デザイン分野】 ・アイオワシティ（米国）【文学分野】 ・メルボルン（オーストラリア）【文学分野】（発表順）
各分野のコーディネータ都市から、分野別会議のフィードバック：2016 年の主な実績及び 2017 年の展望	
閉会式	<input type="checkbox"/> 2017 年次総会のコンクルージョン（結論）のとりまとめ <input type="checkbox"/> 2019 年次総会主催候補都市プレゼンテーション（ファブリアーノ市） <input type="checkbox"/> 2018 年次総会的主催都市による公式プレゼンテーション：クラクフ・カトヴィツェ共同開催（ポーランド） <input type="checkbox"/> 閉会

The Doshisha University Economic Review, Vol. 69 No. 4

Abstract

Masayuki SASAKI and Takako TAKEYA, *Development and Possibilities of Creative City Network*

Between June 29 and July 2 in 2017, the 2017 Annual General Meeting of the UNESCO Creative Cities Network (UCCN) was held at Enghien Leban City near Paris. Out of the 116 cities in 54 countries that constitute the network, more than 300 delegates from 100 member cities and UNESCO representatives gathered and discussed the agenda and future direction of UCCN, besides evaluating and best practices of each creative city. They discussed how creative cities can contribute to the SDGs, which the United Nations (UN) adopted in 2015

This paper discusses the global development of UCCN and its possibilities, based on this conference, as well as discussions at past annual general meetings. It also discusses the trends and relevance of the creative city network, which is also expanding at the regional and national levels.